



ユーミックは、さまざまな得意分野を持つコンサルタントが集まったスペシャリスト集団です。

## 変化する食市場への対応

年末に水産物の市場調査をおこなう機会があったのですが、水産物市場も大きく変化しつつありました。平成24年8月に水産庁の鳴り物入りで「ファストフィッシュ(Fast Fish)」を選定する制度が立ち上がりました。ファストフィッシュとは、手軽・気軽においしく、水産物を食べることで、及びそれを可能にする商品や食べ方のことで、「調理の手間」「調理スキル」「調理時間」「生ゴミ」など、魚食の阻害要因を取り除くことで魚食の利用促進を図る取り組みです。目的は「水産物の消費減少を食い止め、消費拡大を促進する」ことであり、ターゲットとしては、魚食離れの進む「子供のいる世帯」のほか、「高齢者世帯」「単身世帯」などが想定されています。既に選定された商品数は1,700種類を超えており、大手水産加工メーカーや大手スーパーマーケットなども関心を示していることから、今後、普及していく可能性がある取り組みです。しかし、小売店の売場を見る限りでは、売場でのコーナー展開や販売促進などが追いついていないのが実情といえるでしょう。

今後、ファストフィッシュに事業として取り組むためには、「調理の手間」や「ゴミが出ない」といった機能面の充実以外にも、「売場でのPOPやポスター、映像コンテンツなどの販売促進物を使った商品訴求や用途訴求」や、「関連商品を集めたコーナー展開の工夫」、「ターゲットに合わせた商品パッケージやデザイン開発」などが必要になると考えられます。特に、現在、売場に並んでいるファストフィッシュの商品を見ると「子供や若い世代」を対象にしている商品が多く見られるのですが、もともと魚が好きだったが加齢により食べるのが難しくなった「高齢者の方」の方が有望なターゲットになる可能性もあります。

取り組みとしては日も浅く、現状としては中途半端な印象のあるファストフィッシュですが、取り組みの方向性などは時代の潮流にも合っており、大手企業も力を入れていることから、今後の展開が注目されそうです。



### Book review 『仕事ができるようになりたいければ釣りをしろ』

著者：中鉢 慎 / 出版社：つり人社 / 価格：1,260円(税込)

この本は、「釣りは仕事に通じる思考やスキルの集大成である」との視点で書かれた本で、ビジネスに関する様々な考え方を全て「釣り」に例えたユニークなビジネス書(それとも釣りの手引書?)です。途中の息抜きには「男の肴道場」のコーナーがあり、気の利いた一品レシピが紹介されているなど、様々な意味で実用的な本です。著者は「釣り人」兼「コンサルタント」であり、至って真面目な内容でありながらも、読み手が「釣り人」ならば更に楽しく読める一冊です。「釣り」とは目標を達成するために外部へ働きかける行為であり、その為には様々な努力が必要となります。「ターゲットである対象魚の設定」「目標を実現するために適切な道具やエサの選択」「成功確立を向上させるための釣り場や釣果実績等の情報収集」など、ビジネスに応用できる要素が多くあります。仕事と趣味を両立させている著者の考え方も参考になるのではないのでしょうか。



Monthly Voice 渡貫 久

Profile

大学卒業後、広島市に本社のある食品スーパーマーケットに入社。現場、人事、経営企画、業務改善を経験後、中小企業診断士の資格を取得し、独立。スーパーマーケットや食品メーカー、飲食店等、食や流通関連の企業を中心としたコンサルティングのほか、公的機関や学校、民間企業向けの研修を行なっている。中小企業診断士